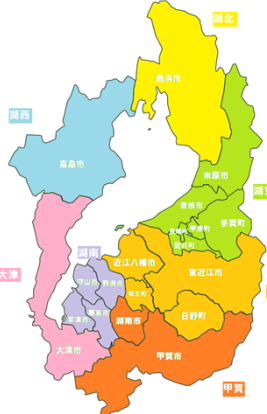


第101回全国図書館大会 第20分科会健康情報 基調報告

連携で広がるサービス

～滋賀県公共図書館がん情報提供事業の
取り組みについて～

滋賀県公共図書館協議会がん情報提供委員会
東近江市立八日市図書館
橋本 祐子



1. はじめに 滋賀県の公共図書館

県人口 1,421,779人
(平成26年1月1日現在)
市町数 19市町(13市6町)
市町図書館数 48館(設置率100%)
県立図書館 1館
私立図書館 1館
職員(うち司書)153(123)人※市町のみ
(専門職比率80%)
人口1万人あたり1.08人
県民1人当貸出冊数 7.7冊

平成27年度
滋賀県立図書館事業概要
(平成27年6月)より

図書館の設置及び運営上の望ましい基準

利用者および住民の生活や仕事に関する課題や地域の課題の解決に向けた活動を支援するため、健康・医療に関する情報の整備・提供に係るサービスの実施に努める必要がある。

滋賀県がん対策推進計画(平成25年度3月改訂)

○がん相談支援センターの利用者の増加と機能向上
⑤相談支援センターは、県民に認知されるよう、市町・県立図書館など公共施設との連携を図り、県民が容易に情報を入手できる場所の拡充を行います。

2. 滋賀県の公共図書館における 健康医療情報サービスの現状

資料コーナーを設置している県内公立図書館

- ・東近江市立能登川図書館
- ・愛荘町立秦荘図書館
- ・日野町立図書館
- ・多賀町立図書館

現状、資料コーナーは未設置ですが、医療機関と連携して講座や相談会の開催等の取り組みをしている図書館もあります。



2. 滋賀県の公共図書館における 健康医療情報サービスの現状

専門的知識の不足による選書の難しさ
パンフレット等の多岐にわたる資料をどう集めるか
健康医療情報のための資料費の確保
医療講座をしたいがどこから講師に来てもらえば？
謝礼の問題も・・・

・・・等々の課題にぶつかる図書館も。そんな現状の中で開催された

滋賀県内の公立図書館とがん相談支援センターの 連携に関する交流会

第1回 平成25年3月 / 第2回 平成26年7月

第1回 公立図書館とがん相談支援センターとの 連携に関する交流会(平成25年3月12日)

がん相談支援センター
図書館
それぞれの役割・活動の報告



第2回交流会 がん相談支援センターと図書館との
地域連携をさぐる(平成26年7月11日)



第2回交流会 がん相談支援センターと図書館との
地域連携をさぐる(平成26年7月11日)



がん相談支援センターの
制度・活動について



公共図書館の役割について

第2回交流会 がん相談支援センターと図書館との
地域連携をさぐる(平成26年7月11日)



各地の実践例を学ぶ講演会



第2回交流会 がん相談支援センターと図書館との
地域連携をさぐる(平成26年7月11日)

小グループに分かれて
情報・意見を交換

図書館には
どんな情報が
あるの?



相談支援センター
が図書館に期待
することは?

互いが互いの資料(資源)を知らなすぎるのでは?

互いに不足しているところを補い合えるのでは?
選書・資料収集・広報...

図書館内にはがん相談支援センターの出張所を作ることは可能か?

図書館員に支援センターに来てほしい!

各地域の支援センターと図書館どうして話し合いの場をもちたい!

資料費・事業費の確保が困難、何か支援を受けられる方法はないか?
→「滋賀県がん対策推進基金」を活用しては?
広域で各所と連携して会を作り、運用すれば成功するのではないか。
→ 公共図書館がん情報提供事業へ

3. 公共図書館がん情報提供事業(平成27年度)

がんに関する情報を正確に効果的に、
かつ継続的に県民に発信する事業

1. 広報事業(県民向け)
公共図書館ががん情報に対する情報提供の場の一つであることの周知
→ 公共図書館と医療機関の連携による講演会の開催
2. 研修事業(図書館員向け)
県内公共図書館員のスキルアップを図り、今後の健康医療情報サービスの拡充につなげる → サービス先進地の視察および報告会の実施
3. 資料活用事業(県民・図書館員向け)
単年度にとどまらない情報発信。上記事業に参加できない県民および公共図書館員への情報提供 → がん情報誌の作成

3-1. 広報事業(県民向け)

公共図書館と医療機関の連携による講演会
『がんとともに生きる～知ることからはじまる～』
平成27年(2015年)11月3日(火・祝)

- ・当事者と医療者による講演会
- ・当事者・医療者・県行政職員・図書館員によるパネルディスカッション

3-2. 研修事業(図書館職員向け)

静岡県立子ども病院図書室 視察

医学図書室の塚田薫代さんによる患者図書サービスのご紹介&ブックトーク

WEB情報の研修も

静岡県立中央図書館 視察

健康医療情報コーナーを中心に館内を見学させていただきました。

3-3. 資料活用事業

がん情報誌の作成

『住み慣れた地域で生きるためのがん情報を』

- ・相談支援センターや患者サロンなど支える・支えあう人・場所の紹介、インタビュー
- ・図書館の健康医療情報サービスの案内
- ・相談支援センターの支援員と図書館員で選んだおすすめの本

→等々の内容で鋭意、取材・執筆中です。

4. おわりに

第48回滋賀県政世論調査の結果
“県として力を入れるべきがん対策”

- ①「がんにかかったときの早期発見(がん検診)の推進」(55.3%)
- ②「がん医療に関わる医療機関の整備」(41.9%)
- ③「がんのための就労が困難になった際の相談・支援体制の整備」(32.4%)

社会的に大きな課題＝行政が重要視している施策
＝図書館の取り組み
一致している今がサービスを拡充させる好機
住み慣れた地域でよりよく生きていくために、
今後につながる取り組みを！

